投　稿　規　定（令和５年６月改定）

１．投稿者の資格

筆頭著者は，原則として広島県病院薬剤師会の会員に限る。ただし，共著者についてはこの限りではない。

２．著作権等

本誌に掲載された論文の著作権は，広島県病院薬剤師会に属する。編集上の事項を除いて掲載された論文の責任は著者が負う。著者は掲載決定次第，所定の著作権譲渡書を広島県病院薬剤師会宛に提出する。

３．論文の主題，種別

医学・薬学に関する論文を対象とする。

投稿論文は，オリジナリティを有し，抄録としてのものを除き他雑誌に発表したものあるいは他誌に投稿中のものでないこと。

論文の種別は原著，調査・報告，症例・事例報告等とする。

４．研究倫理

投稿論文の内容はヘルシンキ宣言（世界医師会），人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省），医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン（厚生労働省），症例報告を含む医学論文および学会研究会発表におけるプライバシー保護に関する指針（外科関連学会協議会）に従ったものでなければならない。人を対象とする研究で倫理的配慮を必要とする場合，倫理面に関する審査委員会の承認を受けること。

また，実験動物を用いた研究は，動物実験に関する審査委員会の承認を受けることを原則とする。

５．投稿手続き

(1) 原稿，投稿論文チェックリスト，自己申告によるCOI報告書および著作権譲渡書を送付する。原稿はワープロソフトを使用して作成し，投稿論文チェックリスト，自己申告によるCOI報告書は本誌を複写して使用する。

(2) 郵送の場合，原稿は正１部と，副１部の計２部を提出のこと。電子媒体の原稿（作成時のOS，ワープロソフト名，バージョン記載）をCD-R等に保存し添付すること。後述の投稿先メールアドレスに送付することも認める。

原稿等は返却しないので，返却希望の場合はその旨添え状等で明記すること。

(3) 電子メールによる投稿の場合，以下のアドレスに必要ファイルを添付書類として送付する。

（宛先：広報委員会　広島はくしま病院　薬剤科
鵜池　敏令　pharmacy@hiroshima-hakushima-hp.jp）

原稿ファイルについて，作成時のOS，ワープロソフト名，バージョンをメール本文に記載する。原則Microsoft Word形式とすること。

投稿論文チェックリストと自己申告によるCOI報告書は記載後PDF化したファイルを送付すること。

６．論文に関する問合せ先

730-0004　広島市中区東白島町19-16
広島はくしま病院
薬剤科内　広島県病院薬剤師会広報委員会
TEL：082-224-5322　　FAX：082-502-8036

７．論文の受付および採否

原稿の到着日を受付日とする。

論文の採否は，本会学術・教育研修委員会の意見に基づき，広報委員会が決定する。必要に応じ作成支援の目的で投稿者への意見提示を行う。

８．論文の著者校正

受理決定後著者校正を原則として１回行う。送付された校正刷に赤字で校正項目を記入し，添付した著者校閲済通知に署名のうえ，同封の返信用封筒にて１週間以内に返送すること。

９．論文のホームページへの掲載

本誌に掲載した論文は，広島県病院薬剤師会HP（https://www.hshp.jp/）の会員専用ページに掲載するほか，メディカルオンライン（https://www.medicalonline.jp/）にて電子的に公開する。

10．別冊

投稿者には別冊５部を無料進呈する。ただし規定以上希望する場合は投稿者の実費とする。

11．執筆要領

11-１　投稿論文の体裁

(1) 投稿論文は次のものからなり，通しのページ番号を付ける。①表紙，②要旨（和文），③キーワード，④本文，⑤引用文献，⑥図の説明，⑦図表

(2) 原稿は横書きで，A4版に25字×20行で18枚以内，表紙から通し頁を振ること。図，表は各々を原稿用紙１枚に換算してこれに含める。

(3) 薬品名は一般名とする。商品名を記載したい場合は，タイトルおよび本文の最初に出てくる箇所に「一般名（商品名）」の形で記載する。ただし，論文の内容によって必要な場合は商品名を記載しても差し支えない。

(4) 外国語の固有名詞，地名，および本邦で医薬品として用いられていない薬品名は欧文活字体で記載する。要旨および本文でしばしば繰り返される語は略語を用いても差し支えない。要旨，本文の最初に出てくる箇所に完全な用語を小文字で記載し，以下に略語を用いる

Presented by Medical*Online

ことを明記する。略語による薬品名は大文字を用いること。なお，抗菌薬ならびに抗がん薬は日本病院薬剤師会略語集（https://www.jshp.or.jp/member/cont/ryakugo.pdf）を参照すること。
細菌名等の学名，専門用語（*in vitro* 等）はイタリック体で印字する。

(5) 単位は，第17改正日本薬局方に基づく国際単位系（SI）を記載する。例：セルシウス度（℃），リットル（L），ミリリットル（mL），マイクロリットル（μL）。ただし，mmHg や Osm 等医療上汎用されている単位は使用できる。

11-2　表紙（1頁目）

(1) 表紙には，論文の種別，表題，著者名，著者所属施設名，同所在地および責任著者の電子メールアドレスを記載する。

(2) 表題はできるだけ短いものがよいが，内容をよく表現すること。またその英訳を添えること。本文中に正式名称の記載があれば，略語を用いてもよい。

(3) 著者名，著者所属施設
全著者の姓名，所属施設，施設所在地を記載する。またその英文も記載する。著者が複数の場合には論文に関する問い合わせを受ける著者名（責任著者）の右肩に asterisk（*）を付ける。

(4) 責任著者の電子メールアドレス
責任著者（単著の場合は著者）の電子メールアドレスを記載する。添付書類のやり取りの出来るアドレスを使用すること。

11-3　要旨，キーワード（2頁目）

(1) 要旨の長さは和文で400字以内とする。当該論文で著者が強調したい要点を含め，目的，方法，結果等を客観的にまとめたものであること。

(2) キーワードの数は4個以上6個以内とする。本文にある単語から選択すること。略語を用いる場合は「正式名（略語）」の要領で記載する。

11-4　本文（3頁目以降）

(1) 本文は，症例報告等を除き緒言，方法，結果，考察，謝辞，利益相反開示等の構成とすること（必要に応じて複数の項目を統合してもよい）。

(2) 引用文献の引用箇所には，右肩に上付きで[1～3]と記載する。

(3) 人を対象とする研究で倫理的配慮を必要とする場合，倫理面に関する審査委員会の承認について，承認番号記号，承認日等を方法の項に明記する。

(4) 感謝の辞を付記したい場合は，謝辞に記載する。謝辞は省略できる。

(5) 全ての共著者に関する，論文投稿時の投稿内容に関連する利益相反状態について，記載基準に合致するものは利益相反開示の項に記載する。該当するものがない場合もその旨記載すること。

11-5　引用文献

(1) 引用文献は公開された情報源から入手できるものに限り，15編以内とする。印刷物を引用することを原則とするが，やむを得ずインターネットから引用する場合は公的機関のもののみを認める。

(2) 本文の引用順の通し番号を付し，番号順に列記する。

(3) 和文著者名はフルネームを記載する。外国人著者名は first，middle，last name の順に記載し，first および middle name はイニシャルとする。

(4) 共著の場合は2名までを記載し，それ以降は「～ほか」あるいは「*et al.*」（イタリック体）とする。

(5) 引用した最初と最後の頁数をハイフンで繋ぐ。頁番号は略さない。
以下，記載例に従う。
【雑誌】①著者名，②論文題名，③雑誌名，④巻数，⑤初頁－終頁，⑥発行年（西暦）の順に記載する。欧文雑誌名の省略は原則として Index Medicus にならい，字体はイタリック体とする。巻数は太字で表記し，年号はカッコ内に記載する。
「記載例」堂薗晴彦，中村和男ほか：癌化学療法時にみられる口内炎の予防，癌と化学療法，**16,** 3449-3451（1989）.
「記載例」K. Y. Yang, R. Glemze *et al.*: Effects of amorphous silicon dioxides on drug dissolution, *J. Pharm. Sci.*, **68,** 560-565（1979）.
【書籍】①著者名，②書名，③版数，④巻数，⑤編集者，⑥出版社，⑦発行地，⑧発行年（西暦），⑨頁数の順に記載する。
「記載例」藤島正敏，猿田享男ほか：“高血圧治療ガイドライン”，杏林社，東京，2000，pp. 31-37.
「記載例」J. F. Gallelli, P. K. Hironaka *et al.*: Handbook of Institutional Pharmacy Practice, 2nd ed., Ed. by T. Brown and M. Smith. ASHP, Maryland, 1986, pp. 471-506.
【インターネット】①省庁名，②題名，③発翰番号，④発令日（西暦），⑤URL，⑥アクセス日時（西暦）の順に記載する。
「記載例」厚生労働省：自ら実施する薬物に係る治験の計画の届け出等に関する取扱いについて，医薬審発第612001号，2003年6月12日。
http://www.hourei.mhlw.go.jp./%7Ehourei/html/tsuchi/contents.html，2003年12月1日アクセス

11-6　図表

(1) 他誌からの図（写真含）表の引用，転載は原則として行わないこと。やむを得ず行う場合は，あらかじめ，

Presented by Medical*Online

版権所有者の許可を得，各図表の下に引用した出典を明記すること。また，この場合版権所有者の許可を得ていることが確認できる資料を別途添付すること。

(2) 図表は１頁に１図または１表とし，本文中に図・表が挿入されるべき位置を明記しておくこと。本文中の図・表を指示する言葉としては，図１，２，…，表１，２，…の様に通し番号を用いること。図表は20cm×14cm 以内とし，文字は６ポイント以上とする。

(3) 写真は手札型（13cm×9cm）以上のものを添付すること。図表および写真は，白黒プリントを原則とする。

Presented by Medical*Online

「広島県病院薬剤師会誌」論文投稿　チェックリスト

本リストは，投稿論文受付，編集を迅速かつ円滑に行えるよう投稿時に必要な手続きを確認するためのものです。下記項目を確認した上で，左□内にレ印を記入し，投稿原稿に添付してください。

投稿に際して

- □ 筆頭著者は，本会会員である。
- □ 本稿は，著者の原著，調査・報告，症例・事例報告である。他の出版物を含め，既発表あるいは投稿中ではない。
- □ 本誌が続報等の場合，過去に発表した論文を引用している。同じ資料は使用していない。
- □ すでに発表されている論文で類似した研究はないかを文献検索し確認している。
- □ 著者および共著者は，本稿の研究にかかわった者だけを記載している。

ヒトを対象とした研究の場合

- □ 対象となる被験者に研究の目的について十分に説明し理解を求め同意を得ている。
- □ 適切な委員会による倫理審査を受け，承認を得ている。
- □ 匿名性の保障等，対象となる被験者の人権擁護のための配慮をしている。

全　体

- □ 原稿の枚数は規定の範囲内とし，体裁は規定に沿っている。
- □ 表紙から図表までの通し頁をふってある。
- □ 略語は不用意に省略することなく，的確に表現している。
- □ 抗菌薬および抗がん薬の略語については日本病院薬剤師会略語集を参照している。

表　紙

- □ 表題は論文内容を簡潔に表現し，略語を用いる場合は本文中に正式名称を記載している。
- □ 表題の薬剤名は，特段の理由がある場合を除き一般名を記載している。
- □ 表題，全著者名，所属施設名，同所在地，責任著者名とその連絡先電子メールアドレスを記載している。

要旨・索引用語（キーワード）

- □ 要旨は400字以内にまとめてある。
- □ 要旨中の施設名および略語は，初回使用時に正式名（以下，当院），（以下，略語）の要領で記載している。
- □ キーワードは 4 ～ 6 個の範囲内で付与してある。本文にある単語から選択し，略語は正式名（略語）の要領で記載している。
- □ 要旨に文献番号はふっていない。

本　文

- □ 論文の構成は，諸言，方法，結果，考察等としている。
- □ すべての図表や文献の記号，番号を本文中の該当する箇所に挿入している。
- □ 施設名および略語は，初回使用時に正式名（以下，当院），（以下，略語）の要領で記載している。
- □ 本文では，図表中のすべてのデータについて繰り返し述べていない。

利益相反

- □ 自己申告による COI 報告書を，著者全員の利益相反を確認し記載している。

引用文献

- □ 文献は公開された情報源から入手できるものである。
- □ 引用する論文の著者の記載は 2 名までとし，それ以上は，ほか（et al.）と記載している。
- □ 外国人の著者名は，ファースト，ミドルネームのイニシャル（ピリオドをつける），ラストネームの順で記載している。
- □ 雑誌の引用：記載項目の順序等は規定通り正しく記載している。
- □ インターネットからの引用は公的機関のものだけとし，機関名，表題，アクセス年月日等を詳細に記載している。
- □ 公的機関以外のインターネット，添付文書，インタビューフォーム，企業資料，法律等は，本文もしくは脚注に記載している。
- □ 省庁の出版物，通知文は，発行番号，発行年月日，頁を詳細に記載している。
- □ 団体等の通知は原則として雑誌掲載されたものを引用している。

図　表

- □ すべてオリジナルのものである。
- □ 1 枚に 1 点を作成し，鮮明に印刷している。
- □ 説明（キャプション）を付してある。説明の表記は Fig, Table は使用せず，図，表としている。
- □ やむを得ず他者が作成した資料，データから引用転載，改変を行ったことから（必要に応じて），あらかじめ転載許可をとり，出典を示している。ガイドライン等を使用する場合は，～より抜粋，～より引用と記載してある。
- □ 図表，写真の挿入希望位置を本文の右欄外に朱書きしている。

以上，上記について確認しました。

年　　月　　日

著者署名

Presented by Medical*Online

様　式

自己申告による COI 報告書

著　者　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

論文タイトル：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（著者全員について，投稿時から遡って過去1年間以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との COI 状態を記載）

項　目	該当の状況	有の場合，著者名：企業名等の記載
①　**報酬（社員，役員，顧問等）** 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②　**株式の利益** 1つの企業から年間100万円以上，あるいは当該株式の5％以上保有	有・無	
③　**特許権使用料** 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
④　**講演料（講演・座長の会議出席等）** 1つの企業・団体から年間50万円以上	有・無	
⑤　**原稿料** 1つの企業・団体から年間50万円以上	有・無	
⑥　**研究費・奨学寄付金** 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
⑦　**訴訟等の顧問料及び謝礼** 1つの企業・団体から年間10万円以上	有・無	
⑧　**寄付講座等の受入** 企業・団体から寄付講座を受け入れている場合，申告者の給与が寄付講座又は企業等からの外部資金によってまかなわれている場合	有・無	
⑨　**研究員等の受入** 企業・団体から研究員・非常勤講師等を受け入れている場合	有・無	
⑩　**その他の報酬（旅費，贈答品等）** 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

（本 COI 申告書は論文掲載後2年間保管されます）

（申告日）

年　　月　　日

連絡著者（署名）　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

Presented by Medical*Online

【論文】　　巻　　号

広島県病院薬剤師会誌

著作権譲渡書

論文題名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

全著者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代表著者名及び役職：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

全著者は，研究の計画または実施，論文作成にかかる知的貢献，出版原稿の最終確認の全てを満たしており，本論文の印刷物並びに電子書籍におけるすべての著作権を広島県病院薬剤師会に譲渡することを承諾します。

署名※

著者名	日　付
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日
	年　月　日

※全著者の署名を自筆で行ってください。
　また，著者が10名を越える場合は，本紙を複写の上，署名してください。

Presented by Medical*Online